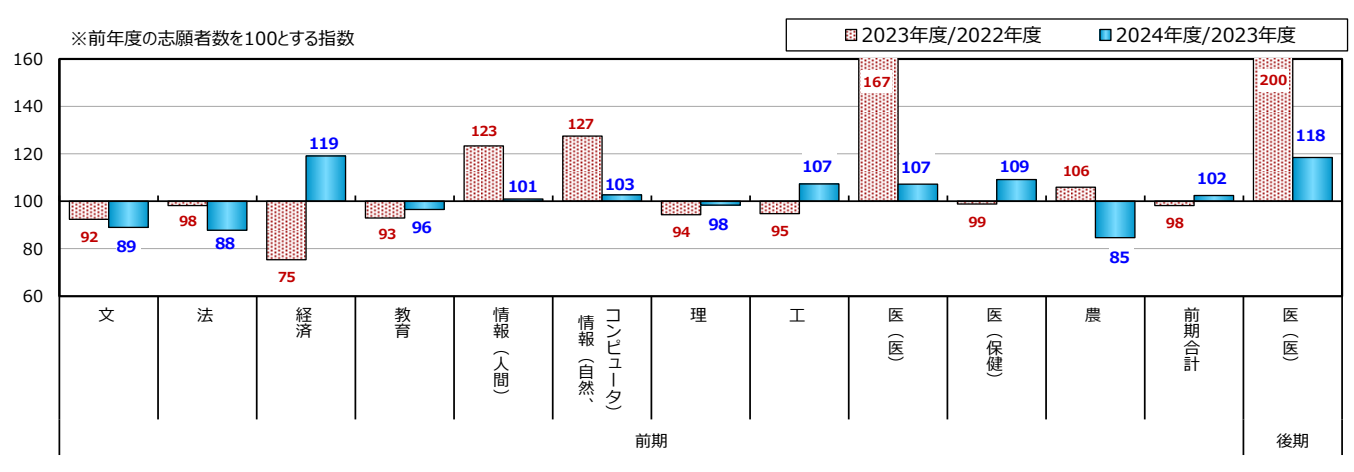


名古屋大：前期は微増、後期は医(医)のみだが大幅増加 前期：+101人 後期：+14人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は101人(102)の微増。文理別では、文系は7人(101)の微増。理系は94人(103)のやや増加。後期は募集人員5人の医(医)のみの募集だが、前年度より募集枠を(地域枠)から(一般枠)に変更したことにより前年度倍増したが、反動はなく、14人(118)の大幅増加。

<前期日程>

- 文(89)は、3年連続減少。志願者数は募集人員が110人となった2008年度以降では初めて200人を下回った。
- 法(88)は、2年連続減少。志願者数は4年ぶりに240人を下回った。
- 経済(119)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願者数は2年ぶりに400人を上回った。
- 教育(96)は、やや減少で2年連続減少。
- 情報(102)は、前年度大幅増加の反動はなく前年度並。学科別では、文系の(人間・社会情報)(101)は前年度大幅増加の反動はなく前年度並。理系の(自然情報)(143)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(コンピュータ科学)(84)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理(98)は、前年度並。志願者数は2016年度以降は500人台で推移と変化は小さい。
- 工(107)は、2年連続やや減少の反動でやや増加、志願倍率も3年ぶりに2.5倍を上回った。学科別では、7学科中4学科が増加。(化学生命工)(126)は2年連続減少の反動で大幅増加。(物理工)(126)も前年度大幅減少の反動で大幅増加。(電気電子情報工)(124)は大幅増加で2019年度以降は前年度の反動による増減が継続。(環境土木・建築)(106)は、2年連続やや増加。一方で、(エネルギー理工)(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(マテリアル工)(90)は減少で2019年度以降は前年度の反動による増減が継続。(機械航空宇宙工)(97)はやや減少だが3年連続減少、2017年度の改組後では最少。
- 医(医)(107)は、前年度激増した反動はなくやや増加。募集枠別では、(一般枠)(112)は前年度50%を超える大幅増加の反動はなく引き続き増加。前年度新設された(地域枠)(61)は大幅減少で、志願倍率も4.6倍→2.8倍にダウン。
- 医(保健)(109)は、3年連続減少の反動で増加。専攻別では、(保健/看護学)(132)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(保健/放射線技術科学)(106)は前年度大幅増加に引き続きやや増加。(保健/検査技術科学)(103)はやや増加で3年連続増加。一方で、(保健/作業療法学)(86)は前年度増加の反動で減少。(保健/理学療法学)(97)は前年度やや増加の反動は小さくやや減少。
- 農(85)は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(応用生命科学)(103)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(生物環境科学)(67)、(資源生物科学)(71)はいずれも2年連続増加の反動で大幅減少。